

令和元年度 第2学期始業式辞

令和元年8月26日(月)

37日間の夏休みが終わりました。自分をマネジメントして、心と体、そして頭にエネルギーを蓄えることはできましたか。何より全校生が無事に今日こうして2学期を迎えられたことをうれしく思いますし、これを当たり前と思わず、感謝の気持ちで受け止めたいと思います。

はじめに、7月に行われた県中体連バドミントン競技に出場した、(3年女子生徒)さん。昨年は果たせなかった県大会1勝、おめでとうございます。市大会以上に勝つことが難しい県大会において、よく頑張りましたね。そして、7月の県中体連、8月の東北中体連水泳競技で100M、200Mバタフライの計4種目で見事に優勝、4冠達成の(3年男子生徒)さん、本当におめでとうございます。このような偉業は、体・心・技の三位一体が揃わないと果たせません。大野中や地域の皆さんに誇りと勇気を与える活躍をしていただき、本当にありがとうございました。

次に、いわき生徒会長サミット事業の一つ、長崎派遣に参加した(3年男子生徒)さん、大阪府堺市派遣に参加した(2年男子生徒)さん、(2年女子生徒)さん、お疲れ様でした。いわきの中学生を代表して得た貴重な経験や学びを、大野中にもしっかりと返してくださいね。御城祭での報告を楽しみにしています。

その他、夏休み中には、部活や勉強に励む皆さんの姿が見られ、「小さいことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただひとつの道だと思っています。」というイチロー選手の言葉を思い出しました。さらには、夏休み中だからこそ、読書や旅行に時間を使った人も多いことでしょう。特に読書は、自分の知らない世界と手軽に出会うことのできる魅力的なツールです。これからも、学校の図書館でも、ラトブにある総合図書館でも、本屋さんでもいいので足を運んで、本の世界に浸り、楽しんでください。

8月上旬、女子プロゴルファーの渋野日向子選手が、全英女子オープンで優勝しました。日本人として42年ぶり、日本人2人目の海外メジャー大会制覇でした。昨年、2度目の挑戦でプロテストに合格したばかり、弱冠20歳の渋野選手が海外メジャーで優勝できたのはなぜでしょうか。一つめは、ピンチの時こそ開き直り、ピンを攻める強気の姿勢を貫いたからです。その背景には、距離やラインを読んで、正確なショットやパットが打てる技術力の高さがあることは言うまでもありません。二つめは、小学生の時、ゴルフとともにソフトボールの投手を務め、失投を引きずらない経験を積んだことで、ミスからの立て直しのうまさを身に付けたからです。そして、三つめは、試合中どんな時でも笑顔を絶やさないようにしているからです。渋野選手は、次のホールへの移動中も、ギャラリーに笑顔でハイタッチをしています。そのため、渋野選手には“スマイリング・シンデレラ”という愛称が付けられたほどです。

さて、渋野選手が、試合中に笑顔を絶やさないようにしているのはどうしてだと思いますか。プロゴルファーとしてのファンサービスという面もあるでしょう。しかし、渋野選

手の笑顔の「目的」は違います。彼女が試合中に笑顔絶やさないようにしているのは、怒りやイライラを顔に出すと、ミスにつながることを経験から学んだからです。ミスショットやミスパットの確率をできる限り低くするために、笑顔絶やさないという手段をとることで、自分のメンタルをマネジメントしているのです。つまり、渋野選手にとって、試合中の笑顔は「手段」です。笑顔でいることが、最も上位の目標、すなわち「目的」ではありません。渋野選手の最も上位にある目標は、「ツアーで優勝し、自分も周りもハッピーになる」ことです。それが「目的」です。そのための「手段」の一つが、笑顔なのです。

ところで、大野中には、「挨拶」という伝統が代々先輩から後輩に引き継がれていますよね。地域の方々やお客さんからも、大野中生の挨拶について、お褒めの言葉をいただきます。皆さんは、あのような挨拶を何のためにしているのですか。皆さんにとって、挨拶の「目的」とは何ですか。もしかしたら、大きな声で挨拶をすることが、「目的」になってはいませんか。どのように挨拶をするか、どんな挨拶をするかは「手段」であり、「そのような挨拶が大切なのはどうしてか。」という上位の目標、つまり「目的」がないと、皆さんの将来に生きるような真の力にはなりません。「おはようございます」「こんにちは」「ありがとうございます」などの挨拶は、あくまで「手段」です。渋野選手の笑顔と同様に、挨拶の「目的」を皆さんには考えてほしいのです。

挨拶だけでなく、勉強や様々な活動においても、「その活動の目的は何？」「それって目的じゃなく、手段だよ。」という問いかけを習慣にできると、皆さんも大野中ももっと成長できると思います。2学期のスタートにあたって、「目的と手段を取り違えない。」「手段を目的にしない。」ことの重要性を皆さんと共有し、式辞といたします。

